

会議録

1. 附属機関の名称 : 史跡東之宮古墳整備委員会
2. 開催日時 : 令和7年1月17日(金) 午後2時30分から午後4時30分まで
3. 開催場所 : 犬山図書館2階 視聴覚室、東之宮古墳現地
4. 出席した者の氏名
 - (1) 委員 赤塚次郎、森下章司、丸山宏、堀木真美子、青山純夫、奥村友幸
 - (2) 執行機関 滝教育長、中村教育部長
歴史まちづくり課 加藤課長、渡邊課長補佐、中野主事
5. 報告事項
 - (1) 令和6年度実施事業について
6. 議題
 - (1) 令和7年度実施計画について
 - (2) 東之宮古墳前方部の修復について

7. 会議要旨

報告事項

- (1) 令和6年度実施事業について

(事務局より令和6年度の管理業務、利用状況、普及啓発事業の実施状況について説明した。そのうち、ワークショップの内容について委員長よりご説明いただいた。)

委員①:チャートは丸くなりにくい石材ではあるが、葺石で使用されたチャートの中で、丸くなっているものは確認されているのか。

委員長:基本的にすべて角がある。

委員②:人為的に割られたものか。

委員長:現在東之宮古墳の登り口に落下しているチャートは小さいものが多く、拳大以上の石材はなかなか見つからないため、古墳造営のために山を平らにした際に意図的に作ったものとみられる。

委員①:ワークショップの成果を公開した方がよいのではないかと。

事務局:HPでの公表などPRを行っていく。

委員長:埋蔵文化財センターが実施している報告会等での発表もよいのではないかと。

委員①:公開することで輪が広がっていくため、是非公開方法を検討していただきたい。

議題

(1) 令和7年度実施計画について、(2) 東之宮古墳前方部の修復について

((1) 令和7年度実施計画について、(2) 東之宮古墳前方部の修復については共通箇所が多いため、事務局より令和7年度の管理・普及啓発の計画と東之宮古墳前方部の実施内容と今後のスケジュールについて合わせて説明した。)

委員③:ワークショップで計測した拳大以下の石を修復で使用するという説明であったが、どこの石を使用するのか、どのような石を使用するのかなどの記録は取っているのか。

事務局:どこに置かれていた石を使用するのかは記録しており、ワークショップの際に、写真も撮影しているが、念のため再度撮影しておく。

委員③:埋め戻しが終われば整備完了として、報告書を刊行するのか。

事務局:整備報告書はすでに刊行されている。

委員③:明確な記録を残す必要があるため、工事中の写真を撮影し、どのように埋められているのかなどの記録は残した方がよい。